



よう太のワーク 「冬支度」

ことばナビ ふゆ じ たく 冬支度 さむ 寒さへの備え、庭園の樹木も そな 寒さへの備え、庭園の樹木も てい えん 庭園の樹木も じゆ もく 庭園の樹木も

冬の寒さに備えること。ストーブなど暖房器具、防寒着の用意のほか、冬用タイヤへの交換も。冬支度は地域によってさまざまです。二十四節気では、冬の始まりは立冬。今年（ことし）は11月7日でした。秋分と冬至の間にあたるこのころに冬支度も本格化（ほんかく）します。

気象庁によると、新聞などの天気図にも冬支度があります。台風（たいふう）の動き（うごき）を見るため（ため）南部分（みなみぶん）が大きく（おおい）なった図（ず）を、11月ごろから北部分（きたぶん）を大きく（おおい）表示（ひょうじ）し、シベリア（シベリア）の高気圧（こうきあつ）をとらえるため（ため）だそう（さう）です。

樹木（じゆもく）も冬（ふゆ）に備（たも）つてお（お）くす。金沢市（かなざわ）の兼六園（けんりくえん）では雪（ゆき）の重み（おもさ）で枝（えだ）が折（よ）れな（な）いよう（よう）に、松（しょう）などにわら（わ）ら（わ）ら（わ）ないよう（よう）に「雪（ゆき）つり（つり）」をほ（ほ）ご（ご）し（し）ま（ま）す。岡山市（おかやま）の後楽園（こうらくえん）では、松（しょう）の害虫（かいしゅう）を駆（く）除（じよ）するため（ため）に、わら（わ）で編（あ）んだむし（むし）ろ（ろ）を巻（ま）き付（つ）ける「こも巻（ま）き」が晩秋（ばんしゅう）の風物詩（ふうぶつし）とな（な）って（て）いま（いま）す。

美しくライトアップされた兼六園の松。柱を中心に枝を「雪つり」がほかにされている。金沢市

掲載日：2014年11月23日／紙面：山陽新聞朝刊／掲載：104ページ

●記事からさがそう。

- ①冬支度とは？（ ）
- ②二十四節気での冬の始まりは？（ ）
- ③今年は何月何日だったの？（ ）
- ④天気図の冬支度は？（ ）
- ⑤④は何のためにするの？（ ）
- ⑥金沢兼六園での冬支度の代表例は？（ ）
- ⑦⑥は何のためにするの？（ ）
- ⑧後楽園での冬支度の代表例は？（ ）
- ⑨⑧は何のためにするの？（ ）

・ _____月 _____日 _____年 _____組 _____番 名前 _____

解答例

- ① 冬支度とは？（ 冬の寒さに備えること ）
- ② 二十四節気での冬の始まりは？（ 立冬 ）
- ③ 今年は何月何日だったの？（ 11月7日 ）
- ④ 天気図の冬支度は？（ 11月頃から北部分を大きく表示 ）
- ⑤ ④は何のためにするの？（ シベリアの高気圧をとらえるため ）
- ⑥ 金沢兼六園での冬支度の代表例は？（ 雪つり ）
- ⑦ ⑥は何のためにするの？（ 雪の重みで枝が折れないように、松などにほどこす ）
- ⑧ 後樂園での冬支度の代表例は？（ こも巻き ）
- ⑨ ⑧は何のためにするの？（ 松の害虫を駆除するため ）